



# 部活動の紹介

## 部活動成績報告

昨年の全国駅伝は、一年生が多く出場したこともあり、三十六位というこれまでに悲惨な結果になってしまった。物心両面にわたり援助いただきました。先輩・地域の方々・御父兄の皆様方に対し、誠にすまなく思っております。最近の駅伝は、テレビ・ラジオにより中継されるこ

ともあり、一般の感心も高まっています。そのような関係もあるのでしょうか、記録の方もおどろくほどのハイレベルになつてきました。私立の高校では、勧誘も全国的となり、素質のある中学生を全国から集めております。また選手を合宿所に入れ管理するなど、あきらかに今までとは

ともあり、一般の感心も高まっています。そのような関係もあるのでしょうか、記録の方もおどろくほどのハイレベルになつてきました。私立の高校では、勧誘も全国的となり、素質のある中学生を全国から集めております。また選手を合宿所に入れ管理するなど、あきらかに今までとは

ともあります。今年も九回目の出場にむけて、きっと選手は頑張ってくれると確信しております。古都京都を走れる誇りと喜びを、選手はよく知つ

が、学校の先生方やOBの方の御指導をいただきながら、全国大会で上位を狙えるチームになるよう、生徒と共に頑張つていくつもりであります。県予選まであと五ヶ月、かつて北高が全国駅伝の出場を夢にみて、当時圧倒的な強さを誇っていた、磐田高の打倒を目指したよう

昭和五十八年度を顧みるに、相撲部にとって大きな意義のあった一年であつた。前年は一年生主体の若いチームで幸運にも高校総体へ出場したが、五十八年度は主力が二年生となり、

地力もつけてきたが、残念ながら出場することはできなかつた。しかし、高校総体と同レベルの他の全国大会へ出場した一年でもありました。十和田・高知の二大会は、

今後とも精進に努めます

相撲部は、各県の新人（一・二年生）の全国大会でもあり、翌年の高校総体の予想が立てられる大会である。その二大会における部員たちの体験は、日頃の練習とは異なり、また、ただ参加したという事実よりも、将来への糧ともいえる何かを残したものと信じております。

そこで、皆様の応援をお願い致します。

## 全国駅伝に参加して

陸上部顧問 塩谷孝文

部名	東部大会	県大会	東海四県大会(全国大会)
珠算部		国民珠算競技大会県予選 団体…優勝 個人…1位 本山 2位 清 3位 保坂 全国高等学校珠算競技大会県予選 団体…2位 個人…2位 本山・清 3位 保坂・小林 静岡県実務競技会 個人…1位 本山	全国高校珠算競技大会(専大) 団体…佳良 個人…佳良・本山 全国高校珠算競技大会(神戸市) 個人…優良・本山
商業研究部	東邦高校タイプ競技大会 団体…3位 九野・小林・松本		
相撲部	団体…優勝 個人…3位 佐野・松永	全国大会県予選 団体…2位 県新人大会 団体…1位 個人…1位 佐野 3位 井上	東海四県総体 団体…3位 個人…3位 松永 全国高校選抜十和田大会 団体…ベスト16位 全国高校相撲新人大会出場(高知)
水泳部	団体…2位 400Mメドレー 2位 400Mリレー 2位 800Mリレー 2位 個人…200M自由形1位 渡辺 400M自由形1位 渡辺	個人…200M自由形2位 渡辺 400M自由形2位 渡辺	東海四県大会 200M自由形3位 渡辺 400M自由形5位 渡辺 インターハイ 200M自由形に出場 渡辺 400M自由形に出場 渡辺 国民体育大会 800Mリレーに出場 渡辺
バドミントン部	新人戦 団体…3位 個人…W2位 吉川・奥村 W7位 入月・増田 S8位 入月 I・H子戦 团体…2位 個人…W1位 吉川・奥村 W3位 入月・増田	新人戦 団体出場 個人…W1位 吉川・奥村 W4位 入月・増田 I・H子選 团体(男子)…3位 個人…W3位 吉川・奥村 団体…3位(女子)	東海四県大会に出場 個人…W 吉川・奥村
庭球部	I・H子選(女子) 個人…W5位 茅光寺・風岡 I・H子選(男子) 団体…2位 個人…2位 深沢・鈴木 5位 佐野・北条 新人戦 团体(女子)…3位 個人…1位 望月・風岡 5位 勝又・苗橋	I・H子選 個人…W3回戦 佐野・北条 W3回戦 茅光寺・風岡 新人戦 個人…W5位 望月・風岡	国際ジュニア軟式テニス選手権大会 団体2位…1年男子団体の部
卓球部	I・H子選 個人…ベスト16 遠藤 団体…6位 全日本ジュニア予選 個人…ベスト8 小川・井出 新人戦 团体…2位 小川 個人…3位 小川 ベスト8 井出	I・H子選 団体…子選リーグ 3位 個人…3回戦 遠藤 全日本ジュニア予選 個人…2回戦 小川・井出 新人戦 団体…3位 小川 団体…ベスト8	
サッカーパーク	総合体育大会 決勝トーナメント進出 新人戦…準優勝	県高校選手権…2回戦進出 新人戦…1回戦	
弓道部	総合体育大会 男子個人 橋本・佐佐木 笹原 女子個人 矢部・池田 赤池・渡辺 新人戦 女子団体…2位 女子個人…1位 赤池	出場するも予選通過せず 県出場	
女子バレーボール部	選抜バレーボール大会 ベスト8	県大会出場	
登山部		県総合体育大会一次予選参加 新人大会参加	
剣道部	I・H子選 男子団体…3位 女子団体…1位 新人戦 女子団体…3位	高校選手権大会 男子団体…ベスト8	
バスケット部	全国総体予選…6位 新人トーナメント大会…6位	県大会出場	
野球部	春季大会…2回戦 秋季大会…2回戦		
柔道部	柔道祭 団体…3位 I・H子選 軽量級…5位 柳田 中量級…3位 佐野(シ) 新人大会 1部…3位 2部…1位 選手権大会 有段者…1位 後藤 段外者…3位 田中 団体…3位	I・H子選 個人 軽量級…3位 柳田 金日本新入体重別 60kg以下…3位 柳田 団体予選 60kg以下…3位 柳田	全国高校駅伝東海大会…8位 全国高校駅伝全国大会…36位
陸上競技部	I・H子選 団体…2位 200M…3位 金野 800M…1位 大森 1500M…1位 大森 2位 佐野(ヤ) 5000M…1位 植田 2位 野村 3000MSC…1位 佐野(寿) 3位 佐野(ヤ) 400MR…1位 三段…2位 山口 棒高…1位 佐野(卓) 2位 藤田	I・H子選 400MR…4位 1500M…3位 大森 3000MSC…3位 佐野(寿) 5000M…4位 植田 棒高…4位 佐野(卓) 三段…2位 山口 全国高校駅伝県大会…優勝 静岡県駅伝…優勝	全国高校駅伝東海大会…8位 全国高校駅伝全国大会…36位
スケート		県スポーツ祭スピードスケート 1500M…1位 小松宏	森川理恵 国民体育大会出場

違つてきております。そのような方法を取らないと、とても全国で上位に入れるチームになれないほど記録が向上してきました。

北高は県立であり、とてもそこまではできませんが、学校の先生方やOBの方の御指導をいただきながら、全国大会で上位を狙えるチームになるよう、生徒と共に頑張つていくつもりであります。

県予選まであと五ヶ月、かつて北高が全国駅伝の出場を夢にみて、当時圧倒的な強さを誇っていた、磐田高の打倒を目指したよう

昭和五十八年度を顧みるに、相撲部にとって大きな意義のあった一年であつた。前年は一年生主体の若体へ出場したが、五十八年度は主力が二年生となり、

十和田・高知の二大会は、今後とも精進に努めます

篠原金物店 日用品・雑貨・工具  
富士宮市西町二六一〇 (26)二四七六  
篠原 徹(県立二十回)



時計・宝飾・喫煙具  サロンイマムラ (駅店) TEL 26-3446 (長崎屋店) TEL 24-6635	富士宮市阿幸地五二三一 吉澤徳 今村堯 (工化二回) 今村一徳 (県立二十五回)	ユシカワ ピエール・カルダン紳士服 富士宮市西町五二一 二二(商九回) 二二(商五回) 二二(三五六一)	阿幸地 渡辺正 桂卷正 和田亘 富士宮市西町十一ノ十四 二二(三八八五)	とうふやの和田 桂 桂 富士宮市西町十一ノ十四 二二(三八八五)	そば処、総合結婚式場 塩川賢三(県立二十一回) 富士宮市大中里一六五七 達明(県立二十四回) 富士宮市西町五ノ五 二二(三三六三)	土田養鱒場 志ほ川 仁(県立十七回) 富士宮市西町二六一〇 二二(二七九四)
--	---	---	--	--	--	--

## 大学・短大合格状況

※は商業科 ( )は女子

[國立大學]		帝大		阪南		大		1	
岩手	大	2	2	(1)	3	2	2	2	2
秋田	大	1	1	4	4	(1)	大	大	2
山形	大	1	1	※2	(1)	3	理	科	2
宮都	大	1	1	2	2	4	產	業	2
京千	葉學	(1)	1	2	1	1	州	大	1
東京	芸船	1	1	6	1	6	九	大	※1
東山	商梨	1	1	4	4	4	南	大	
信香	州岡	3	5(2)	(2)	(2)	2	計	181	
計		18							
[公立大學]		帝大		阪南		大		1	
高崎	經濟	1	1	2	2	1	立	立	1
都留	文科	(1)	1	4(2)	1	1	工	科	(1)
静岡	女子	(1)	1	1	2	4	商	衛	3
計		3		5		5		5	
[私立大學]		帝大		阪南		大		1	
東北	福祉	3	2	2	2	3	立	立	1
国際	商科	2	1	1	1	1	院	院	(1)
獨	協	※2	1	1	1	1	見	學	1
文千	教	3(2)	3	1	1	1	大	園	(1)
千亞	業	7	7	1	1	1	女	子	(1)
大工	業	細	3	1	1	1	園	大	(4)
国國	科	亞	3	1	1	1	學	大	(1)
駒芝	妻	子	(1)	1	1	1	園	大	(1)
専大	学	院	5	5	1	1	學	大	(1)
大高	士	院	1	1	1	1	大	大	(1)
高千	リ	業	8	8	1	1	大	大	(1)
浦	沢	修	1	1	1	1	大	大	(1)
東	正文	正	5	5	1	1	近	大	(1)
千穗	化	文	1	7(2)	1	1	畿	大	(1)
創玉	リ	商	※1	1	1	1	阪	經	1
中	価	社	1	1	2(1)	1	法	科	1
計		36		36		(ハワイ)			

### 産業別就職状況

※は普通科 ( ) は女子

産業別就職状況		主な会社名	
〔金融・証券〕		富士セラミックス	※1
静岡銀行	※(1)	〃	3(2)
〃	(1)	ポリプラスチック	※1
中部相互銀行	(1)	〃	1
富士宮信用金庫	※(1)	ニッゲン工業	1
〃	(2)	コラボイド	2
富士信金庫	(1)	東洋薬品	1
静岡労働証券	1	小野薬品	※(1)
〔卸・小売〕	2(1)	富士カプセル	(2)
富士宮酒販業	(1)	サンショウ精密	1
木本産業	2(1)	〔運輸・通信〕	1
木木車商	2	富士宮通運	(1)
土竹内	2(1)	日本通運	1
角東海日産モルタル	1	〔サービス・印刷〕	
マオートパックス富士	1	ファイブサンドレッドクラブ	※1
鈴木の	1	国士計画	※1
〔製造〕	1	富士サファリーパタ	(1)
富士重工業	※1	丸栄計算センタ	(1)
富士山	※1	大和技術	(1)
山川	1	太理成事	1
富士士	2	金管会	(1)
ホンダ	1	釜成事	1
後佐	1	金関	2
玉トヤミ	1	凸版印刷	1
吉シスヤ	1	城北印紙	1
日本自	2(1)	〔公務・公社・その他〕	1
本動	2	東京書院	2
本連	3	〔税務〕	1

## 環境が人をつくる



人物往来

代表取締役  
佐藤工機  
社長  
佐藤文二

七時頃から夜遅くまで中々  
つかまらない。仕事が面白  
くて仕方がないようだ。漸  
くのことアボイントでき  
た。奇麗に整備されて、座  
一つ落ちていない工場を訪  
れる事が出来たのは、臯月  
市内宮町において始めた  
薄物板金加工が当社の発  
である。嚴父高次郎氏は「  
津工廠の下請をしていた  
戦後、プレス金型専門部  
と旋造部門とに分け、前  
を佐藤精機（実兄佐藤政

の五月末であつた。国道

文二氏は昭和三十六年佐藤工機社長を父から引継ぎ、

氏が社長)、後者を佐藤工機として新しく発足した。  
以後東芝富士工場、東芝日野工場の協力工場となつ

度もシリンドラー等はミリ、  
ンを競つてゐる点である。  
ここ十年間の工作機械の進  
歩が、現在の日本經濟を支

いと取り残される。いち早く家電から情報機器に比重を移しつつある事が良かつた」と言う。その為にはた

勢の反面、誰からも好かれ  
る会社になるよう努力して  
いる。更に母校の報恩感謝  
を取り入れて、前述の努力と

えて來た者の人柄でも  
る。

北嶺文芸

北嶺会の動き

五十八年度		北嶺会の動き	
58年	58.28	役員会	58年度総会
		会日時等の決定及北嶺会だより第11号発刊準備	会日時等の決定及北嶺会だより第11号発刊準備
7.2	7.28	役員会	58年度総会提出議案等審議他
7.10	7.10	58年度総会をサンパレスにて開催。来賓に吉田新市長、稻田新県議を招く。又同日北嶺会だより第11号を配布	58年度総会をサンパレスにて開催。来賓に吉田新市長、稻田新県議を招く。又同日北嶺会だより第11号を配布
11.15	11.15	会長と校内幹事の連絡会、新北嶺会名簿作成及校内幹事の仕事の一部を校外幹事へ移譲する件について打合せる。	会長と校内幹事の連絡会、新北嶺会名簿作成及校内幹事の仕事の一部を校外幹事へ移譲する件について打合せる。

連載  
北高のあゆみ (第五回)



県立移管のころ

渥美辰雄

北嶺会だよりの編集係より「県立移管の周辺」として何か書いてほしい。という依頼を受けた。

「昭和二十八年」といえ

ば私は二十六才の青年教師で、生意気にも仲間たちと学校を背負って立つ氣概と情熱を持つ、ひたむきに努力していた時代であつた。

今にして思えば、血氣だけが先行した未熟で恐れを知らぬ若者の一人よがりだったのかも知れないと思う。そんな私たちの失敗を許し、逆に勇気づけてくれた当時の先輩や、学校を取り巻く風土に強い郷愁を感じるのである。

現在の若い先生がたは当時と較べてずっと洗練されているし、スマートだと思う。しかし、反面、もつと生徒たちに体を張つてぶつかり、失敗を恐れぬ汗と、泥喰さがほしいと思うが時代の流れであろうか。

五十才も半ばを過ぎて学校運営の責任者の立場に立つた今、昔を問われ、當時の事を思い起こした次第である。

私が校長津田隆先生(現茨城大学名譽教授)に乞われて富士宮実業高校に赴任したのは、学制改革により新制高校として発足一年目昭和二十四年の春であつた。

大学のキャンパスを思われる中央道路に目を見張り。広大な四〇〇米グラウンドの芝生に心を打たれ、学校を被うように聳えたつ富士の雄姿を眺めながら、この環境の中で教師として働くことの出来る感動で胸をしみつけられる思いであつた。本館や校舎には、戦争の傷跡が伺えたが正面玄関に白く、ひときわ美しい咲く「ユツカ」の花がこの学校の夢を象徴しているようであれしかつた。



渥美教諭

昭和28年 県立移管の頃

学校の経営者であり、富士宮育英財團の理事長であつた元文部大臣高瀬莊太郎先生がよく見えられたのもこの頃である。お話をきながら、吸い終わらないのに次々と煙草に火を付けられる。ひとつひとつの言葉に聞きながら「財団も最善の努力をしている。学校に寄せる地域の期待に答えてほしい。」という意味のお話であつた。聞きながら「言葉を大切にする先生だなあ。」と思つたものである。

創立者、望月先生は学校が将来に向かつて大きく飛躍発展する基盤として「満州鉄道」に投資をされ、その果実によつて必要な経費は有り余るものとして出発されたと聞いていたが、敗戦を境にそれも水泡に帰し、破局を迎えることにあつたのである。

私たちには経営の内容はわからなかつたが、このままで私立高校の将来に展

北嶺会だよりの編集係より「県立移管の周辺」として何か書いてほしい。という依頼を受けた。

「昭和二十八年」といえ

ば私は二十六才の青年教師で、生意気にも仲間たちと学校を背負って立つ氣概と情熱を持つ、ひたむきに努力していた時代であつた。

今にして思えば、血氣だけが先行した未熟で恐れを

知らぬ若者の一人よがり

だったのかも知れないと思

う。そんな私たちの失敗を許し、逆に勇気づけてくれた当時の先輩や、学校を取

り巻く風土に強い郷愁を感じるのである。

現在の若い先生がたは当

時と較べてずっと洗練され

ているし、スマートだと思

う。しかし、反面、もつと

生徒たちに体を張つてぶつ

かり、失敗を恐れぬ汗と、

泥喰さがほしいと思うが時

代の流れであろうか。

五十才も半ばを過ぎて学

校運営の責任者の立場に

立つた今、昔を問われ、當

時の事を思い起した次第

である。

私が校長津田隆先生(現

茨城大学名譽教授)に乞わ

れて富士宮実業高校に赴任

したのは、学制改革により

新制高校として発足一年目

昭和二十四年の春であつ

た。

私たちには経営の内容は

わからなかつたが、このま

まで私は私立高校の将来に展

望が持てなくなっている様子は肌で感じたものである。移管を待たずに茨城大

学生に転出が決まつた津田校

長は「移管推進の責任者と

して私の信頼する秋山伸三

先生を本校にお迎えするこ

とになつた。皆様方のご協

力をお願いしたい。沈痛な

面持ちで話されたのが今で

も目に浮かぶ。

封住された秋山校長は休

む暇もなく当時の小室市長

並びに寺田七郎PTA会長

等と積極的に運動を進めら

れ、ついに昭和二十八年、

県立移管が実現した。定か

ではないが、県立移管に

よつて半数近い先生がたが

転出されたり、退職を余儀

なくされることになつた。

財団はその退職金の整理

も出来ず、止むなく県と接

渉の結果、現在県の農業畜

産関係の事務所になつてい

る当時のブルー予定地、三

千七百坪を県移管の枠外と

して県に譲渡手続きを取

り、その代金数百万円が関

係者に支払われることに

なつた。

当時私も五万円程の金を

頂戴したが、よろこびと悲

しみの交錯するなかで若い

教師仲間と飲んでしまつた

ものである。

校名も静岡県立富士宮北

高等学校となつた。校章を

どうしようかということに

なつた時、工業科の林信一

先生と私の合作で、従来の

感動に満ちた生活であった。

昭和三十年前後の北高で

の教師生活は、私にとって

その先生も三島高等学校の

理事長職にあつた五十八年

の感動的で充実した生活であつた。

吉田廉、富士宮市長(社

会)、篠原渡、前富士宮東教

頭(商業)、塩川健一、富士

東高教頭(英語)、池田宏、

吉田教諭

県立移管の頃

が将来に向かつて大きく飛

躍発展する基盤として「満

州鉄道」に投資をされ、そ

の果実によつて必要な経費

は有り余るものとして出発

されたと聞いていたが、敗

戦を堺にそれも水泡に帰

し、破局を迎えることにあつたのである。

私たちには経営の内容は

わからなかつたが、このま

で私は私立高校の将来に展

望が持てなくなっている様

子は肌で感じたものである。

移管を待たずに茨城大

学生に転出が決まつた津田校

長は「移管推進の責任者と

して私の信頼する秋山伸三

先生を本校にお迎えするこ

とになつた。皆様方のご協

力をお願いしたい。沈痛な

面持ちで話されたのが今で

も目に浮かぶ。

封住された秋山校長は休

む暇もなく当時の小室市長

並びに寺田七郎PTA会長

等と積極的に運動を進めら

れ、ついに昭和二十八年、

県立移管が実現した。定か

ではないが、県立移管に

よつて半数近い先生がたが

転出されたり、退職を余儀

なくされることになつた。

財団はその退職金の整理

も出来ず、止むなく県と接

渉の結果、現在県の農業畜

産関係の事務所になつてい

る当時のブルー予定地、三

千七百坪を県移管の枠外と

して県に譲渡手続きを取

り、その代金数百万円が関

係者に支払われることに

なつた。

当時私も五万円程の金を

頂戴したが、よろこびと悲

しみの交錯するなかで若い

教師仲間と飲んでしまつた

ものである。

戰を堺にそれも水泡に帰

し、破局を迎えることにあつたのである。

私たちには経営の内容は

わからなかつたが、このま

で私は私立高校の将来に展

望が持てなくなっている様

子は肌で感じたものである。

移管を待たずに茨城大

学生に転出が決まつた津田校

長は「移管推進の責任者と

して私の信頼する秋山伸三

先生を本校にお迎えするこ

とになつた。皆様方のご協

力をお願いしたい。沈痛な